

こども 0歳～19歳 ワクチン接種スケジュール



2019年5月版

ワクチン名	接種回数	接種時期																		
		0歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	3か月	6か月	2歳	3歳	4歳	5歳
不活化ワクチン B型肝炎	定期 3回			①	②					③										
	健康保険 母子感染予防 3回	①	②					③												
生ワクチン ロタウイルス	1価 2回			①	②															
	5価 3回			①	②	③														
不活化ワクチン ヒブ (インフルエンザ菌b型)	定期 4回			①	②	③								④						
不活化ワクチン 小児肺炎球菌 (PCV13)	定期 4回			①	②	③								④						
不活化ワクチン 肺炎球菌 (PPSV23)	任意 1回																			
不活化ワクチン 四種混合 (DPT-IPV:ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ) 二種混合 (DT:ジフテリア・破傷風) 三種混合 (DPT:ジフテリア・百日咳・破傷風) ポリオ (IPV)	定期 4回	四種混合 ① ② ③ ④																		
		二種混合 (DT) ①																		
		三種混合																		
		不活化ポリオ																		
生ワクチン BCG	定期 1回							①												
生ワクチン 麻しん・風しん (MR)	定期 2回													①				②		
生ワクチン 水痘	定期 2回													①	②					
生ワクチン おたふくかぜ	任意 2回													①				②		
不活化ワクチン 日本脳炎	定期 4回																①②③		④	年齢によって定期接種可能
不活化ワクチン インフルエンザ	任意 13歳未満 2回 13歳以上 1回																			
不活化ワクチン HPV (ヒトパピローマウイルス)	2価 3回																		①②③	
	4価 3回																		①②③	
不活化ワクチン 髄膜炎菌	任意 1回																			
不活化ワクチン A型肝炎	任意 3回																			



不活化ワクチン
接種間隔は中6日



法律に定められた期間で接種した場合は無料（公費負担）。



生ワクチン
接種間隔は中27日



接種費用は自己負担（自治体によっては接種費用の助成があります）ですが、ワクチンの必要性は定期と同じです。

定期接種の推奨期間

定期接種の可能期間

任意接種の推奨期間

任意接種の可能期間



一般社団法人
 日本プライマリ・ケア連合学会
 Japan Primary Care Association

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 (JPCA) / ワクチンプロジェクトチーム



ワクチン名	接種間隔	対象者・注意事項
B型肝炎	①-②の間は4週、①-③の間はそれぞれ20-24週あける	定期：0歳で3回接種。 1歳以上でも未接種の場合は、早めに接種することを推奨。
	①生直後 ②生後1か月 ③生後6か月	HBs抗原陽性の母親から生まれたHBs抗原陰性の乳児（健康保険適用）
ロタウイルス	生後6週以降、①は8週-15週未満を推奨（遅くとも生後14週6日までに開始） ・1価ワクチン：①-②は 4週以上あける ・5価ワクチン：①-②-③は 4週以上あける	・1価ワクチン： 生後6週から6か月(24週) までに完了する ・5価ワクチン： 生後6週から8か月(32週) までに完了する
ヒブ (インフルエンザ菌b型)	・初回接種が生後2か月-6か月：①-②-③の間はそれぞれ27日以上、③-④の間は7か月以上あける。①-③までを12か月までに終了する。 ・初回接種が生後7か月-11か月：①、②の後は7か月以上あけて③ ・初回接種が1歳-4歳：①のみ	生後2か月以上から5歳の前日まで
小児肺炎球菌 (PCV13)	・初回接種が生後2か月-6か月：①-②-③の間はそれぞれ27日以上あける、③-④の間は60日以上あけて、1歳から1歳3か月で④を接種 ・初回接種が生後7か月-11か月：①、②の接種後60日以上あけて1歳以降に③ ・初回接種が1歳-生後23か月： ①、②を60日以上あける ・初回接種が2歳-4歳：①のみ	生後2か月以上から6歳の前日まで
肺炎球菌 (PPSV23)		任意：2歳以上 対象者：(1)脾臓摘出した人の肺炎球菌予防（健康保険適用）(2)鎌状赤血球症、脾機能不全、心臓・呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏等の基礎疾患のある人、免疫抑制剤治療予定者（治療開始まで14日以上以上の余裕のある場合）
四種混合 (DPT-IPV: ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ) 二種混合 (DT:ジフテリア・破傷風) 三種混合 (DPT:ジフテリア・百日咳・破傷風) ポリオ (IPV)	①-②-③の間はそれぞれ20-56日あける ③-④の間は6か月以上あける (標準は③終了後12-18か月の間) 11-13歳未満 二種混合 二種混合の代わりに三種混合ワクチンを接種可 (百日咳予防目的)	定期： 1期：生後3か月-7歳半の前日まで (四種混合・三種混合+不活化ポリオ) 2期：11歳-13歳の誕生日前日まで (二種混合) 任意（推奨）： ・5歳から7歳未満 三種混合ワクチンを追加接種（百日咳予防目的） 不活化ポリオワクチンを追加接種（ポリオ予防目的）
BCG		定期：12か月未満 標準的には、生後5か月から8か月

ワクチン名	接種間隔	対象者・注意事項
麻しん・風しん (MR)	①：1歳から2歳の誕生日の前日まで ②：5歳から7歳未満 (小学校就学前の1年間)	定期：①1歳、②年長児相当 任意：1歳以降全年齢接種可能 麻疹曝露後や流行地域では、生後6か月以降で接種可能。その場合は接種回数には数えず、①、②は規定通り接種する
水痘	①：1歳以降 早期に ②：1回目から3か月以上あける	定期：1歳から3歳の誕生日前日まで 任意：1歳以降全年齢接種可能
おたふくかぜ	①：1歳以降 早期に ②：5歳-7歳未満（小学校入学前の1年間） ①から4週間あければ接種可能	任意：1歳以降全年齢接種可能
日本脳炎	①-②の間は6日以上(-28日) あける ②-③の間は6か月以上あける ④：9歳-13歳未満 参照 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou20/annai.html	定期：1期：3歳から7歳6か月 (自治体によっては生後6か月から開始) 2期：9歳以上13歳未満 任意：生後6か月以降全年齢接種可能 2005年5月からの積極的勧奨の差し控えを受け、特定対象者（1995年4月2日から2007年4月1日生まれのみ）は、20歳の誕生日前日まで定期接種可能。2007年4月2日から2009年10月1日生まれのみは生後6か月-7歳半の前日までと9歳-13歳の前日までに第1期の接種可能
インフルエンザ	13歳未満：1回目-2回目の間は4週(2-4週) あける	任意：生後6か月以上全年齢 定期：65歳以上（成人のスケジュール参照）
HPV (ヒトパピローマウイルス)	2価ワクチン	
	①-②の間は1か月あける、 ①-③の間は6か月あける	定期：小学校6年から高校1年女子 任意：10歳以上 標準的な接種ができなかった場合、①-②の間は1か月以上、 ①-③の間は5か月以上、かつ②-③の間は2か月半以上あける
髄膜炎菌	4価ワクチン	
	①-②の間は2か月あける、 ①-③の間は6か月あける	定期：小学校6年から高校1年女子 任意：9歳以上 標準的な接種ができなかった場合、①-②の間は1か月以上、②-③の間は3か月以上あける
A型肝炎	1回目-2回目の間は2-4週あける 1回目-3回目の間は20-24週あける	任意：全年齢接種可能（WHOは1歳以上を推奨） 対象者：A型肝炎流行地へ渡航するひと